



2021年9月15日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
ドローン実装社会をけん引する株式会社 WorldLink & Company への投資実行
—ハードウェアとソフトウェア技術の両輪で「ドローンと社会を正しくつなぐ」—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、ドローンの社会実装を通じて社会課題の解決を進める株式会社 WorldLink & Company（本社：京都市北区、代表取締役社長：須田信也。以下、ワールドリンク社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。ワールドリンク社は今回の調達資金を活用し、デジタルデータ事業の拡大、自社技術等の開発力強化を行ってまいります。

■ 投資先企業の概要

ワールドリンク社は「技術とアイデアで、より良い未来を創る」という経営理念を掲げ、「SkyLink Japan」というブランドでドローンの機体販売、アフターサービスならびに空撮、インフラ点検、測量等の領域で最新技術を活用したソリューションを提供しています。気候変動による自然災害の増加、社会インフラの老朽化や少子高齢化による人手不足等、喫緊の社会課題に対する直接の解決策となりうるドローンという新しい領域で、いち早く社会実装ノウハウを蓄積し、顧客に最適な提案を行うことで、業界のハブとしての役割を担ってきた会社です。

今後はさらに、これまで培ったハードウェア関連のノウハウと、自社開発によるソフトウェア技術の両輪でお客様と社会が求めるドローン関連サービスをワンストップで提供し、本格的なドローン実装社会をけん引していきます。

■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2021年8月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、883億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com